

番号	2-5-1	表題	汚水流入渠における高濃度の硫化水素発生への対応について	
内容	<p>当局では、大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業として銭瓶町ポンプ所の再構築を実施しているが、これに伴い八重洲幹線を流れる汚水を第二低段幹線へ切り替えることとした。このとき、し砂が未処理のまま流末の芝浦ポンプ所へ流入してしまうことから、除じん設備を芝浦ポンプ所内の芝浦幹線汚水流入渠内に新設することとした。</p> <p>除じん設備の設置に先立ち、汚水流入渠直上階において開口設置工事を行っていたところ、最大 150ppm の高濃度硫化水素が流入渠内から断続的に発生していることがわかった。そこで、施工箇所において硫化水素濃度の調査を実施した結果、原因の特定には至らなかったが、雨天時には最大 625ppm 超まで急激に濃度が上昇し、晴天時には 50ppm～100ppm の範囲で緩やかに濃度が上昇することが確認できた。</p> <p>この調査結果を踏まえ、上流域において硫化水素濃度を低減する薬剤の投入場所や投入量について実験及び検討を行った。その結果、施工箇所における硫化水素の発生濃度を 0ppm まで抑えることができたため、その取組内容について報告する。</p>			
キーワード	汚水流入渠 高濃度硫化水素 薬剤投入 硫化水素発生濃度抑制			
処理区名	芝浦処理区	位置区分	ポンプ所	
職種区分	土木	施策区分	再構築、危機管理、臭気対策	
状態区分	調査 研究、計画、工事	新規性		
実施年度	令和 2 年度	全体期間	令和元年度～令和 2 年度	
担当部署	第二基幹施設再構築事務所 工事第一課 技術調査担当			
発表履歴	局内	令和 3 年度職場研修「令和 3 年度設計・工事事例発表会」		
	局外	第 5 9 回下水道研究発表会		
調査方法	直営調査			
関連情報				